

令和7年度 釜石祥雲支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～勤務負担を軽減し、自信とやる気をもって働ける職場環境づくり～

釜石祥雲支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校時間
 - ・月80時間以上の者：R6年度0人【R4年度0人・R5年度0人】
 - ・年360時間以上の者：R6年度10人【R4年度35人・R5年度28人】
 - ・教職員一人当たりの平均時間外在校時間：**23時間10分**
【6時間31分縮減(R5比)】

- ◆年次休暇の取得状況について
 - ・1日単位で5日以上を年次を取得した教職員の割合**78.8%**

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・勤務時間内に業務遂行できるよう全教職員で工夫する意識がある。
 - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
 - ・教職員の業務負担を軽減するため、現場の状況を把握しながら、業務分担の整理・見直し等について検討を進めている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を**22時間**とすることを目指します。【R6:23時間10分】
- 5日以上(1日単位で)年次休暇を取得する教職員の割合を**90%**にします。【R6:78.8%】

【目指す姿】

- ・教職員が授業の構想や教材作成に十分な時間を確保し、より質の高い教育を提供できるよう、働き方の見直しが図られている。
- ・教職員一人ひとりが、心身ともに健康な状態で勤務し、仕事に対する自信とやりがいをもって業務に取り組んでいる。
- ・教職員が、本校で奨励する「Me-timeの日」や「定時退庁日」を意識し、家庭や自分のための自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職が、年次取得・「Me-timeの日」・「定時退庁日」について積極的に呼びかけを行います。 ・月の時間外在校時間が月途中で30時間超となった教職員には声掛けをし、健康維持やワークライフバランスの観点から、業務時間の縮減を勧めます。
(2)	学校における業務改善の推進	・職員会議のオンライン実施や各種会議の内容に応じた書面開催の活用により、準備や所要時間を縮減し、効率的な運営を進めます。 ・教職員のICT活用を促進し、スキル向上を図ることで、業務の質的向上を目指します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう資料を提示します。 ・教職員の事務的作業を、スクールサポートスタッフの効果的な活用により縮減させます。
令和7年度 重点取組事項		・分掌組織体系及び業務内容、諸会議の見直しを行い、教職員の負担軽減を進めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のホームページに掲載するとともに、会議等を通じて教職員に周知します。
- ・学校運営協議会において資料として提示し、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。